

素掘池を利用したPRDVフリー親クルマエビの養成

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2025-04-24
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 崎山, 一孝, 虫明, 敬一, 西岡, 豊弘
	メールアドレス:
URL	所属:
	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014527

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



素掘池を利用した PRDV フリー親クルマエビの養成
崎山一孝・虫明敬一・西岡豊弘

クルマエビの種苗生産では、PAV（クルマエビ類の急性ウイルス血症）防除対策の一つとして PRDV（PAV 原因ウイルス）フリー親エビの確保が求められている。本研究では、PCR 法で PRDV が検出されなかった稚エビを用いて養成試験を行った。その結果、養成期間中にクルマエビや池内生物からウイルスは検出されず、成熟 1 歳エビの養成とこれを用いた種苗生産ができた。PRDV の感染防除の理由として、池内生物からの水平感染がなかったこと、低密度飼育、死亡個体の除去および水質悪化の防止がクルマエビのストレスを軽減したことが考えられる。

栽培技研, 29(2), 79-83, 2002